

■長崎県での取り組み



SDGs未来都市・自治体モデル事業』に選定

2018年6月に、「持続可能な開発目標（SDGs）」達成に向けた優れた取り組みを行う自治体として、長崎県で初めて（離島で唯一）、壱岐市が「SDGs未来都市」として選定され、総務官邸にて選定証授与式が行われました。また、このSDGs未来都市の中でも、特に先進的な取り組みとして「自治体SDGsモデル事業」にも選定されました。現在は、SDGs推進関係省庁タスクフォースによる強力な支援を受けながら、SDGsの達成を市政の柱として、戦略的に進め、地方創生の一層の促進に取り組んでいます。



長崎 SDG+クラブ
第3回フォーラム

誰ひとり取り残さない長崎

企業とSDGs 長崎のSDGs つながるSDGs

2020.2.2(SUN) ■時間 13:30～16:30(受付13:00～) ■場所 長崎県庁 1F 大会議室

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

長崎の皆さまが参加して進歩に取り組む人々がつながり、積極的な地域と社会の発展を期待します。

参加無料!

お申込みは下のURLからQRコードの申込フォームをご入力ください。
https://forms.gle/K76wVY9F4J37268

お申し込みはこちら

ご参加お待ちしております。いろいろと持続可能な社会をつくりましょう。

主催 長崎 SDGs クラブ

後援 長崎県、長崎市、国立大学法人長崎大学
賛助賛成社 西日本新聞社、NHK、長崎放送、NBS、長崎放送、KTR、テレビ長崎、長崎文化放送、NHK長崎放送チャンネル、エフエム長崎

＜プログラム＞
■13:30 開会挨拶 江頭 明文（長崎県社会教育委員連合会会長）
■13:35 基調講演
1) 「重視する企業の持続性とSDGs」
松橋 修一（九州教育林株式会社代表取締役社長）
2) 「サステナブルな地域社会の発展に向けて」
藤 信彦（カトラーフ生命保険株式会社執行役員 長崎本社担当）
■15:00 グループディスカッション
基調講演についての意見交換や各自の取り組み紹介
■15:45 パネルディスカッション 「経営者と考える長崎とSDGs」
・コーディネーター 見隈 礼子（長崎大学文化社会学部教授）
・パネリスト 松橋 修一、藤 信彦
■16:15 閉会
■16:30 閉会
* 特別文芸版（厚労省HP上で各自のブログ・インスタグラム）

■中小企業が取り組む必要性

- 1、中小企業はSDGsの実施・達成の「キープレイヤー」
- 2、SDGs市場は大きく、中小企業にとっても「ビジネスチャンス」
- 3、SDGsを取り入れているかどうか、仕事を依頼する「会社選び」の基準になることもある
- 4、SDGsに取り組むことで「企業のイメージアップ」に従業員の確保や「やりがい」につながる例が報告されている
- 5、SDGsは企業の「これから」を考える指針になる



■1、中小企業はSDGsの実施・達成の「キープレイヤー」

SDGsの実施・達成に向け、政府だけではなく、様々なプレイヤーが行動を起こすことが想定されています。中でも、民間企業の力、特に中小企業の力が重視されています。

日本における中小企業数は全体の99%、従業員数でも約70%を占めていることを考えても、中小企業の行動が国内外でのSDGsの実施・達成の鍵であるといえます。

2018年12月に政府が発表した「SDGsアクションプラン2019」では、中小企業におけるSDGsの取組強化がうたわれています。

■2、SDGs市場は大きく、中小企業にとっても「ビジネスチャンス」

SDGsの達成には、民間企業が提供する商品やサービスが必要とされています。また、SDGs達成のための新たな技術やビジネスアイデアも求められています。こういったSDGsがもたらす市場機会の価値は、年間12兆ドル（約1,340兆円）、2030年までに創出される雇用は、世界で約3億8,000万人といわれています。地球環境にやさしい素材「LIMEX」を開発したTBM社は一気に成長しました！

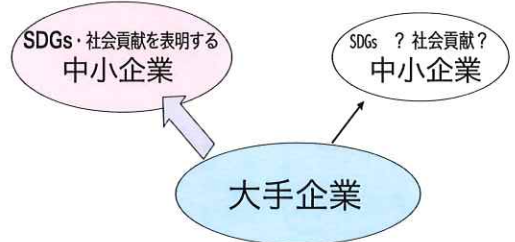
石灰石からつくる革命的新素材



環境にやさしい新素材LIMEXがオフィスで使える！
インクジェット印刷用『LIMEXシート 200μ』

■3、SDGsを取り入れているかどうか「会社選び」の基準にSDGsを使ったバリューチェーンの見直しはビジネス界でも進んでおり、サプライヤーにも影響が出ると考えられます。また、ここ数年のESG投資の拡大は、持続可能な社会に貢献する企業への投資拡大を意味しています。このような時流を捉え、時代を先取りして、持続可能性をビジネスに内部化することが得策です。

*ESG投資…環境・社会・企業統治ができていないか否かで企業を評価し投資を決める



■4、SDGsの取組みで「企業のイメージアップ」「やりがい」につながる

SDGsに取り組んでいることが、社会における自社イメージや社会的信頼をアップさせ、意識の高い、優秀な人材を惹きつけることにもつながります。また、SDGsを通じて企業活動が世界や社会とつながることで、従業員の仕事の「やりがい」を生み出し、仕事に対するモチベーションの向上にも役立っている事例が報告されています。

